

中之島地域のコミセン化に向けた取組状況について（報告）

平成24年11月14日
中之島支所地域振興課

1 背景

長岡市では、平成15年に「長岡市コミュニティセンター条例」を制定し、公民館を中心とした従来のコミュニティから、コミュニティセンターを中心とする新たなコミュニティづくりを推進しています。このことにより、「住み良い地域社会を築くために、自分たちでできることは自分たちで行う」という「住民自治」の考え方を広めることを目指しています。

公民館や分館を中心とする従来からのコミュニティは、戦後これまでの間に大きな役割を果たしてきました。しかし、これからの時代はこれまで以上に自主的で柔軟な地域づくりが求められているため、従来からのコミュニティの枠組みによる活動では適応が難しくなっています。このため、長岡市ではこれからの時代に求められる社会福祉など多様な活動を行うことができる新たなコミュニティ組織にバトンタッチするためにコミュニティセンター化を進めています。

長岡地域では、平成16年4月から31地区で地域施設をコミュニティセンターとして開設し、その取組みをスタートさせました。また、三島地域では合併地域の先頭を切って平成21年度にコミュニティセンターを開設しました。

2 経過

中之島地域では、当地域の特色を活かしたコミュニティ組織づくりを目指し、平成21年度に「長岡市なかのしまコミュニティ検討委員会」を設置して検討を開始しました。2年間にわたる審議・検討を行い、平成22年12月には「長岡市なかのしまコミュニティ検討委員会検討結果報告書」を取りまとめ、翌年2月に開催された地域委員会において検討結果が報告されました。

引き続き平成23年度からは、「長岡市なかのしまコミュニティ推進準備委員会」を設置し、これまでの検討結果を更に具体化するため、市長から委嘱された13名の委員の皆さんから審議していただいて今日に至っています。

3 取り組みの現在の状況

現在、中之島地域では特定の目的ごとに充実した活動を行っている団体が多数ありますが、コミュニティ活動の推進や地域社会の発展のためには、各団体の個別活動が充実するだけでは不十分で、「どのような地域社会を築いていくのか」という目指すべき地域目標を話し合っていく必要があります。

中之島地域では、既存の各団体から参画していただく「なかのしまコミュニティ推進会議」を推進母体とした新たなコミュニティ組織づくりの取組を進めています。取組みがスタートすると、参画していただく団体からは、歴史講座や女性セミナーなどの生涯学習に関する事業、高齢者等の安全教室や花いっぱい運動などの町づくりに関する事業、高齢者見守り・乳幼児子育て支援やいきいき健康講座などの健康福祉に関する事業、従来の分館の役割を受け継ぎ拡充する地区コミュニティの推進に関する事業などを分担して取り組んでいただきます。各団体からは、事業を推進する過程で、それぞれの主体性を保持しながら団体間の協力や連携の体制を徐々に強化していただき、新たなコミュニティとして一体化を目指していただくこととなります。

また、中之島地域では、公民館や8地区の分館を一斉にコミュニティセンター化することなく、ゆるやかに推進していくという方向性が示されました。このため、コミュニティセンター発足後も当分の間は、8分館の施設、各分館恒例の運動会や敬老会などの事業、事業を推進する分館役員の皆さんの体制を継続していきます。

4 今後の取り組みの状況など

中之島地域では、平成26年4月頃にコミュニティセンターを開所し、同年7月頃にコミュニティセンターが活動開始できるよう取組を進めています。

来年度は、コミュニティセンター発足準備としては最終年度となるため、「長岡市なかのしまコミュニティ推進準備委員会」を継続設置して細部にわたった事項を検討することとし、現在の委員の皆さんから引き続きご尽力いただきたいと思います。